

平成30年度 第1回魚津市総合教育会議 議事録

平成30年10月1日(月)
16:30~17:27
魚津市教育委員会会議室

【出席者】市長 村椿 晃
教育長 畠山 敏一
教育委員 島津 豊、細川 祝、伊東 潤一郎、山浦 春美
事務局(企画総務部長、教育委員会次長、企画政策課長、教育総務課総務係長 他)

【議事録】

事務局 (企画政策課長)	ただ今から平成30年度第1回魚津市総合教育会議を開催いたします。開催にあたり、魚津市長 村椿晃がご挨拶申し上げます。
市長	お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 新しく山浦委員をお迎えしての第1回総合教育会議になります。このメンバーで魚津の教育を考えていきたいと思っております。 先の市議会で教育について問われました。「魚津市は大胆な統合が進んでいるが、子ども達の教育環境の充実のために進めているはずだ。」と。したがって財政負担は大変ですが、しっかりと教育環境はもちろんのこと教育の中身についても充実し、特色あるものにしたいと考えております。現場の先生方にもご負担をかけますがそういった点を重点的に考えて行きたいと思っております。委員の皆様方からも忌憚のないご意見をいただければと考えておりますのでよろしく申し上げます。
事務局 (企画政策課長)	それでは議事に入りたいと思えます。ここからの議事の進行は、市長にお願いいたします。
市長	それでは、議事に入ります。 議事1の「教育環境の整備について」事務局から説明をお願いします。
事務局 (教育委員会 教育総務課 総務係長)	教育環境の整備についてについて説明 ・小学校統合の経緯、現状について ・統合にあわせた教育環境の整備状況(空調、無線LANなど) ・よつば小学校統合前後の児童数、教職員数について ・よつば小学校アンケート(児童、保護者)について ・県への要望(支援強化)状況について ・英語教育推進計画について ・ICT環境の整備状況について ・児童数の推計(31~36年度)について

市長	<p>本来であれば最初にご挨拶いただくべきでしたが、ここで山浦委員に一言ご挨拶頂きたいと思います。</p>
山浦委員	<p>今朝市長から辞令をいただき身の引き締まる思いです。まだまだ勉強が足りませんが少しでもお力になればと思っております。どうぞよろしく願いします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。 今ほど事務局からの話題提供についてでもいいですし、そのほかでも結構ですのご意見を頂きたいと思います。 まずは、島津委員からお願いします。</p>
島津委員	<p>英語教育推進計画についてですが、英語をこれだけ学習していても話せないということがよく言われます。文章が作れなかったり。勉強で覚えても実際に社会で英語が使えるかというところでもない。生活に英語があふれていないと忘れていくのだと思います。それと恥ずかしくてしゃべれないとか。標識や看板にもっと英語があふれていたらと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。 細川委員どうでしょうか。</p>
細川委員	<p>カウンセラーの立場から。統合で先生方が大変だと聞きますが、子ども達にとってはメリットの方が大きいと思います。一方で細やかな配慮や支援が必要なお子さんもおられまして、そのあたりが難しくなっているなという感じがあります。よつば小1年生をみても6人いた担任が3人になっている。スタディメイトが入ったりもしているが支援が行き届いていない面もある。</p>
市長	<p>県には移行期だけでもと要望をしているがなかなか難しい。加配が精一杯。学校の状況も聞いているので何とかしたいと考えています。学校の統合がこれだけ進んでいるのは非常に珍しいです。今後、他の市町村も人口減少、少子高齢化に対応する必要があるので、先駆的であると考えています。一方で支援が必要なお子さんに対する体制充実も必要だと考えています。 伊東委員お願いします</p>
伊東委員	<p>英語教育について。先週一週間ほど学校視察でアメリカに行っていました。ある言語を教えるときにその言葉で教えているのかということです。例えば、アメリカでは日本語を教えるときは日本語で教えていました。学校にも日本語の表示がたくさんある。それと英語を話せない理由は、自分の知っている単語を組み合わせる文章を作るから、本当の言いたいことが言えないのではないかと思います。それと正しくはこういう風に表現するんですよという教育が必要だと思います。 それとアメリカでは教室に先生が2人いるんですよ。教師が一人とインタ</p>

	<p>ーンシップの大学生が一人とか。又は先生の OB がボランティアとして週に何回とか低学年では保護者が補助員としているとか。そういった補助をする人がテストの採点とかも負担している。先生の負担が軽くなり、生徒と向き合えるようになる。小学校の先生は週に 26/30 時限も授業が入っている。高校の先生が 16/30 時限と言われている。そんななかで子ども達に生きる力をどうつけさせるかを考えていく必要があると思います。</p>
市長	<p>山浦委員お願いします。</p>
山浦委員	<p>統合によって様々な問題が明らかになっているが、これらは想定内のことだと思います。これらを乗り越えて落ち着いていくのだと思います。教職員の皆さんには負担感ではなく適正規模になったことによる良さを見出していきたいと思います。多忙感はあるがやりがいや活力を感じてほしいと思います。</p> <p>道下と経田についてですが、以前道下小学校にいたころ、支援級も含めて 15 クラスで目一杯でした。資料では支援級を含んでいないので難しいなと感じます。また、2、3 階の一番山側の教室が少し狭いです。設計上やむを得なかったと思いますが 1 m 程狭い。</p>
市長	<p>今、頂いたいろいろなご意見に対して教育長お願いします。</p>
教育長	<p>支援の必要なお子さんが普通級に増えているというデータもある。補助が今後ますます必要になってくると考えています。英語教育についてですが、中学校ではその言語で教えるという方針にしています。教師の多忙化についても皆さんと相談しながら対応していきたいと思います。</p>
市長	<p>一通りお聞きしました。小学校統合についてはいかにスムーズに進めるかに注意していきます。道下と経田の統合については、児童数を見ながら考えていく必要があります、何が何でも 35 年度ということではないと考えています。</p> <p>そこで空調についてですが、今夏の状況もあり設置の機運が上がっています。文科省に整備のための交付金の要望をしていますが、道下・経田については統合の計画があるので財務省が対象としない方針です。仮に統合後の活用計画があれば対象にすることもできるというのが現在の状況です。このあたりについて皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。学校によって整備されている、されていないは仕方ないとするか、交付金がなくても市単独予算でも全小学校に整備するべきか。どうでしょうか。</p>
島津委員	<p>YKK の電機を担当しているが、空調工事で NEDO などの補助金を活用する事例が増えている。そういった補助金利用は学校には使えないのでしょうか。新しい省エネ技術を入れる必要があるが。早く整備してあげたいと思うが。</p>

市長	山浦委員いかがですか。
山浦委員	子ども達のためにはお金がかかってもしてあげてほしいと思います。
市長	ありがとうございます。 次に ICT 教育についてお聞かせ下さい。電子黒板とタブレットパソコンは費用もかさむことから 1 教室分での整備が妥当と考えていますが、いかがでしょうか。伊東委員どうでしょうか。
伊東委員	私も市長と同じ意見です。そういったツールを使って教育の効率が上がるのであればもっと導入するべきだと思いますが。フィンランドではそういったキットが販売されています。3D で解剖を教えるとか。しかし、使い方を教えるという目的では 1 教室分でいいと思います。
市長	他に自由にご意見いただけますか。
細川委員	相談室登校の生徒に対して、ICT の活用ができないかなと考えています。相談室では孤立感があるが教室にはなかなか入れないという状態の場合、先生もなかなか対応しきれない状況があります。そういった場面で ICT の活用により改善できないかという思いがあります。一人一台と方向性よりはそちらを優先してほしいと思います。
市長	そういった利用は全国的にもあります。
教育長	魚津では特別支援教室を優先しながら進めています。ただ、極端になると登校自体が必要なくなるという危惧もあります。
細川委員	支援級と教室に入れないというそれぞれに対応が必要だと思います。しっかりと診断を受けた後での使用とかで対応できると思います。 ICT は展開の多様性があるので、可能性はありますね。また考えて行きたいと思います。
市長	学力調査についてですが、県内では魚津市と小矢部市が公表していません。公表については賛否両論あります。このあたりについてご意見を伺いたいと思います。島津委員いかがでしょうか。
島津委員	公表しないのは様々な功罪を検討されてのことだと思います。
市長	細川委員はいかがですか。
細川委員	これは順位付けをするためのものではなく、子ども達への指導を改善させ

	<p>るためのものなので、公表する必要はないと思います。</p>
市長	<p>伊東委員いかがですか。</p>
伊東委員	<p>それぞれの理由があるので、自分としては中間的な意見です。ただ、企業を経営していると企業の情報を公表すること自体が大事であることも事実です。しかし、教育は成績よりも大事なものがあると思います。</p>
市長	<p>山浦委員どうですか。</p>
山浦委員	<p>同感です。文科省がこれを始めた理由を大事にしたいと思います。また、もっと大事な生きる力を育てることに力を注ぐべきだと思います。公表する必要はないと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p>
教育長	<p>これからもご意見を頂きたいと思います。</p>
市長	<p>今日は学校教育に特化しましたが、統合にも伴い地域文化の継承についてもこれから相談にのっていただきたいと思います。 これで終了したいと思います。</p>
事務局 (企画政策課長)	<p>どうもありがとうございました。以上を持ちまして本日の魚津市総合教育会議終了とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">17時27分終了</p>